

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
阿賀野市	下水道事業	公共下水道	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		○					

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等														
実施済		(実施類型)	(取組の概要及び効果)	(実施(予定)時期)											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 50%;">汚水処理施設の統廃合</th> <th style="width: 50%;">汚泥処理の共同化</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">維持管理・事務の共同化</th> <th style="width: 50%;">最適な汚水処理施設の選択(最適化)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	汚水処理施設の統廃合	汚泥処理の共同化	○		維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)			農業集落排水事業の一部区域を公共下水道事業(単独公共)に編入。処理施設等維持管理経費の縮減効果が見込まれる。	令和	2	4	1
汚水処理施設の統廃合	汚泥処理の共同化														
○															
維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)														
		○	年	月	日										
実施予定		(取組の概要)	(検討状況・課題)												
検討中															